

中世木モニタリング報告 10月

日時 10月8日(木) 10時～

場所 南丹市日吉町中世木

参加者 清水、白石、古結、細川幾、眞田、前田か 前田敦子(主催者)

天候 雨

前月は降雨量多く中止となりましたので、今月は早めの日程となりました。しかしまたしても雨でしたが、小雨なので決行しました。中世木の里は紅葉こそまだですが、草木は実を付けだし賑やかになり出しました。草本類はタデ科、マメ科、キク科などの秋の花が沢山咲いていました。地味ではありますがイラクサ科の花も沢山花をつけています。残念なのはハンショウヅル sp がすでに咲き終わり、種同定が出来なかったことです。

目立ったものとしてはタデ科ではナガバノヤノネグサが随所に見られ、マメ科ではヌスビトハギに似たヤブハギが確認出来ました。キク科のセンボンヤリが群生し閉鎖花を付けていました。また形の面白いシュウブソウが多く見られました。そろそろ開花かと期待していたアケボノソウが林道にたくさん広がっていました。先々月は夏の暑さにやられたのか枯れかかった状態だったので一安心です。イラクサ科では京都府絶滅危惧種のミヤコミズを確認しています。新たにシソ科のヤマハッカ属の群生を発見(開花株が少なく、斜面上部のために確認が不十分ですがヒキオコシと思われる)。この地域のゲンノショウコは赤花の個体ばかりでした。

樹木ではケンポナシと思われる大木、バイカウツギ、ツルグミが生育しています。

林道には降雨があったからかハタケシメジを初め数種のキノコを確認、アケビも食べ頃の大きい実があり、サルに負けずに頂くことが出来ました。またヤマノイモのムカゴの収穫もあって、実りの秋を実感してモニタリング終了しました。

前回から所定の場所以外の林道も少しずつ調査していますが、今回は降雨のため未実施でした。

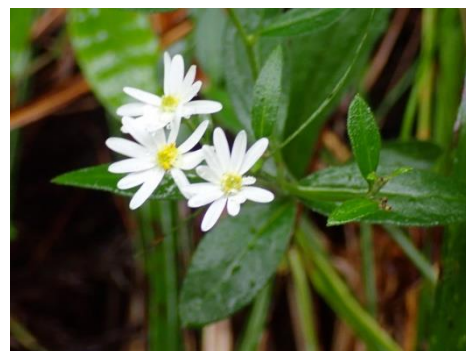
(追伸) 前回調査時に飛来した猛禽類は眞田氏の撮影写真をもとにクマタカであることが判明しました。(清水)



ナガバノヤノネグサ



アケボノソウ



シロヨメナ

ノウタケ



クマタカ

